



# なすびの花

発行者：検査課

揭示期限：令和4年8月31日 (水)

揭示許可：総務課

## 2021年度総括：品質保証推進室長

今年度も、皆さま方におかれましては、社内の品質向上にご協力いただき、ありがとうございます。ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症の状況もなかなか落ち着く状態になく、人々の生活の中で、コロナと共存していける日は、もう少し時間がかかりそうな感じ です。

また、2022年に入り、ロシアのウクライナ侵攻、急激な円安、原油高、半導体不足、そして並行しての物価の上昇等により、社会情勢が大きく変わりつつあります。

このような社会情勢の中では、社内でも、多くの課題が発生してくると思いますので、私たちもより一層の努力をしていく必要があります。

そして品質に関して、この1年大きな不具合品の発生もなく、非常に安定しております。

これは、社長以下従業員全員の、仕事への、品質維持向上に取り組む姿勢が、年々強化されていることの表れとっております。

期が変わっても、この状態を維持するよう、各部署での改善活動に期待をしております。

異常気象・大雨・災害といった自然環境の変化についても心配はありますが、これからも従業員全員で、会社を盛り上げていきます。

## 今年度の品質まとめ

今年度も今月で終了となります。

今年度を振り返ってみると、長年の課題でもありましたが、外観目視検査対策に苦勞した1年でありました。

外観目視検査などの官能検査は、判定に個人差があり、そして個人でも常に一定の判定ができるとは限らず、どうしても曖昧さが生じてしまいます。

今年度、外観目視検査装置の検証が始まっているので、おそらく来年度には、外観目視検査装置が、実際に工程に導入されると思います。

そうなる、外観目視検査の検査員を減らし、他の作業に従事していただくことができるなど、さまざまなメリットが生まれることにはなりますが、100%装置に頼るということはないので、引き続き外観目視検査員の検査精度向上を目指した教育訓練が必要です。

第二工場でも、基板用の外観目視検査装置が7月に導入されています。

こちらは、社内加工した基板上の部品の実装ミスなどが検出できる設定となっておりますが、使い方次第で、更に難易度の高い仕事もしてくれる、未知数の可能性を秘めている装置です。

他にも今年度は、様々な取り組みが行われていて、直近では、ペーパーレス化による

データ管理が始まりました。

間接部門でも、一部デジタル化が図られ、業務効率化が進められています。

来年度も、会社が更に元気に進化できるように、頭を柔軟に、好奇心を豊かにし、自分の持ち場を常に見直して、現場改善を続けていきたいと思います。

## ISO監査

今年度のISO認証監査は、

7月26日(火) 27日(水)の二日間

でした。

昨年、長年に亘り監査を受けていながら、品質・環境共に、事務局が一部誤った認識で捉えていたことが判明し、今年度はしっかりと是正して臨みました。

環境に関しては、今年度は春頃に亀岡市で続いた地震もあり、備蓄品の購入、棚や機器の固定といった対応を、社内パトロールで重点的に取り組みました。

以上の内容を携えて、当日を迎えました。

今年度は、環境の方で、1点宿題がありました。工場内の小集団活動による改善の成果が見えていること、全員参加の改善活動により、PDCAがしっかりと回っていて、目標達成のために、大変有効に機能していることなど、大きく評価されたポイントがたくさんあり、概ね良い結果となっております。

指導事項としては、力量の見える化のため、スキルマップ表の整理が必要な部署がありました。

宿題につきましては、次月以降、また進展のありました折にご報告いたします。